

こだいら特別活動の日

教務主任 喜多村 雄三

梅雨に入り、雨の日が続くようになりました。気温の変化が多い時期ですが、こどもたちは体調に気を付けながら学習や行事に一生懸命に取り組んでいます。雨上がりには校庭で元気に運動を楽しんでいる姿も見られます。いよいよ1学期も大詰めとなりました。

6月の学校公開及び「こだいら特別活動の日」には、多くの保護者・地域の方々にご来校いただき、ありがとうございました。学級活動の授業を参観された方から「大人の会議と同じように役割があり、驚きました。」「意見交換が活発だった。」「活発に意見を交わす姿に成長を感じました。」などのお声をいただきました。

本校では、昨年度に引き続いて「よりよい人間関係や生活をつくり、自己有用感を高める児童の育成～学級活動を通して、自分もみんなもハッピーはなまる～」をテーマにこどもたちの学級活動のあり方を学んでいきます。本年度は「児童が進んでクラスで話したいことを見つけられるようになること。」「児童が友達の役に立っていると思えるようになること。」を目標とし、さらによりよい学級活動を行えるよう指導してまいります。友達と合意形成していく姿を通して、自己有用感を高め、自分や他人を尊重し思いやる気持ちをもってくれることを願っています。

また「こだいら特別活動の日」午後には小平第一中学校に、小平市の全中学校の生徒会役員、全小学校の代表委員会の代表が集まり、「児童会・生徒会サミット」が開かれました。本年度は地域のために何ができるかを話し合いました。真剣な話し合いの結果、花南中校区（花小金井南中、小平第五小、小平第八小、花小金井小）では「あいさつの輪を広げよう」と決まりました。今後、具体的なことを計画し、取り組んでいく予定です。笑顔とあいさつが溢れる地域になることを願っています。

【くすのきコラム】

くすのきでは、1年間を通して児童一人一人が自分のよさを実感し、楽しく学校生活を送れるように、小集団と課題別での指導・支援を行っています。小集団では人と関わる楽しさや心地よさを味わえるように、「見る・聞く・話す」活動を通して集中力を高めて学習態勢を整え、自他の感情の理解、他者とのやりとりを通して伝え方や反応の仕方、気持ちの切り替え方などについて学びます。課題別では、個々の課題に合わせて在籍学級や小集団での様子を振り返り、自分の得意・不得意を理解したり、困ったときに自分から助けを求められたりする（援助要請）力を身に付けます。自分を素直に表現したりどんな自分でも「大丈夫!」と受け止めたりすることで、折り合いを付けられるようにし、社会に出るために必要な力を身に付けています。

保護者の皆様と在籍学級担任と児童の情報を共有しながら指導・支援をしています。何かご不明点などありましたら、いつでもご連絡ください。 ※「くすのき」は、本校の「特別支援教室」の名称です。

※「くすのき」は、本校の「特別支援教室」の名称です。

夏休中の遊び場開放のお知らせ

- ・ 場所 : 校庭から図書室へ変更
- ・ 時間 : 午後3時30分～5時30分(平日のみ)
- ・ 持ち物 : 上履き、水筒、学用品など
- ・ 対象者 : 在校生のみ
- ・ 開放中止日 : 8月6日(木)、11日(火)～14日(金)

※詳しくは小平市のホームページを確認し、みんなでルールを守って利用しましょう。

留守番電話の応答時間変更について

このたび、市が進める教職員の働き方改革の一環として、令和8年7月1日(水)より、平日の留守番電話による応答時間を、午後5時30分から翌日午前7時45分までに変更いたします。